



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月7日

上場会社名 株式会社JCU 上場取引所 東
 コード番号 4975 URL <https://www.jcu-i.com/>
 代表者（役職名）代表取締役会長兼CEO（氏名）木村 昌志
 問合せ先責任者（役職名）取締役常務執行役員経営戦略室長（氏名）井上 洋二（TEL）03-6895-7004
 半期報告書提出予定日 2024年11月12日 配当支払開始予定日 2024年12月2日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	12,736	17.2	4,665	50.7	4,983	55.6	3,385	55.5
2024年3月期中間期	10,864	△17.2	3,095	△33.9	3,202	△32.2	2,177	△34.5

（注）包括利益 2025年3月期中間期 5,237百万円（42.4%） 2024年3月期中間期 3,678百万円（△36.4%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
2025年3月期中間期	円 銭 133.72	円 銭 —
2024年3月期中間期	85.04	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2025年3月期中間期	百万円 52,865	百万円 46,248	% 87.5
2024年3月期	49,641	42,250	85.1

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 46,248百万円 2024年3月期 42,250百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 銭 —	円 銭 35.00	円 銭 —	円 銭 35.00	円 銭 70.00
2025年3月期	—	37.00			
2025年3月期（予想）			—	37.00	74.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,000	8.6	8,500	5.7	8,500	3.5	5,900	6.7	233.44

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期中間期	26,948,849株	2024年3月期	26,941,306株
2025年3月期中間期	1,719,270株	2024年3月期	1,608,632株
2025年3月期中間期	25,318,298株	2024年3月期中間期	25,607,942株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における国内経済は、個人消費の一部において物価高の影響を受け足踏みが見られたものの、雇用環境や企業収益の改善などにより景気は緩やかな回復基調が継続いたしました。製造業では、一部自動車メーカーにおける出荷停止の影響が緩和したほか、生産用機械、電子部品などにおいて国内向けの需要が増加したため、生産活動は回復基調となりました。企業の投資状況においては、デジタル化に伴う投資は一時的に反動減が生じたものの、製造業、非製造業ともに積極的な投資姿勢を維持しております。

海外では中国において、景気減速の影響を受け個人消費は緩やかな減少傾向にあるものの、製造業は外需に持ち直しの動きがあり、横ばいで推移いたしました。欧米諸国においては、インフレ圧力の緩和を受けて景気は持ち直してまいりました。ただし、今後につきましては、資源価格の高騰や世界的な製造業の不調が継続しているとともに、中東地域をめぐる情勢など、引き続き注視が必要な状況にあります。

当社グループを取り巻く事業環境は、エレクトロニクス産業において、世界的なスマートフォンやパソコンをはじめとする様々な高機能電子デバイスの在庫調整が一巡したとみられ、各種製品の需要は回復基調に転じ、出荷台数が増加いたしました。自動車産業は中国において、部品供給不足が緩和されたことにより、生産台数が増加いたしました。

その結果、当社グループの経営成績は次のとおりとなりました。

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	前年比増減
売上高	10,864百万円	12,736百万円	17.2%増
営業利益	3,095百万円	4,665百万円	50.7%増
経常利益	3,202百万円	4,983百万円	55.6%増
親会社株主に帰属する中間純利益	2,177百万円	3,385百万円	55.5%増

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

(薬品事業)

電子分野

中国 スマートフォンをはじめとする高機能電子デバイスの在庫調整が一巡したことでプリント基板の需要が回復基調となり、薬品売上高は前年同期比で大幅に増加いたしました。

台湾 半導体市場に回復の兆しが見られ、サーバー、高機能電子デバイス向け半導体パッケージ基板の需要が緩やかに拡大したため、薬品売上高は前年同期比で増加いたしました。

韓国 半導体市場の底打ちや顧客の在庫調整の進展により半導体パッケージ基板の需要に緩やかな回復が見られ、薬品売上高は前年同期比で増加いたしました。

装飾分野

日本 一部自動車メーカーによる出荷停止の影響が緩和されたものの、デザイントレンドの変化に伴う薬品需要の低下もあり、薬品売上高は前年同期比で減少いたしました。

中国 半導体・部材不足の緩和に伴い自動車の生産台数は増加したものの、当社が対象とする自動車部品の需要が低下したため、薬品売上高は前年同期比で横ばいに推移いたしました。

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	前年比増減
売上高	9,806百万円	11,384百万円	16.1%増
セグメント利益	3,467百万円	4,967百万円	43.3%増

(装置事業)

受注案件が予定通り進行したことで売上高は増加いたしました。大型案件の新規受注が減少したため受注高、受注残高は減少いたしました。

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	前年比増減
売上高	1,057百万円	1,352百万円	27.8%増
セグメント利益	76百万円	172百万円	124.0%増
受注高	1,296百万円	647百万円	50.1%減
受注残高	4,223百万円	3,560百万円	15.7%減

なお、前連結会計年度において「その他」に含まれておりました(株)そらぶちファームの全株式を譲渡し、連結の範囲から除外したことに伴い、当第1四半期連結累計期間より「その他」の区分を廃止しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ3,223百万円増加し、52,865百万円となりました。

流動資産は、主に売掛金が減少したものの、現金及び預金の増加、契約資産の増加により2,425百万円増加し、43,256百万円となりました。

固定資産は、主に工具、器具及び備品(純額)及び建設仮勘定の増加により798百万円増加し、9,608百万円となりました。

(負債)

当中間連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ774百万円減少し、6,616百万円となりました。

流動負債は、主に電子記録債務が増加したものの、支払手形及び買掛金、未払法人税等の減少により757百万円減少し、5,906百万円となりました。

固定負債は、主に繰延税金負債が増加したものの、長期借入金の減少により17百万円減少し、710百万円となりました。

(純資産)

当中間連結会計期間末の純資産合計は、親会社株主に帰属する中間純利益の計上による利益剰余金及び為替換算調整勘定の増加により、前連結会計年度末に比べ3,998百万円増加し、46,248百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物は、28,410百万円と前連結会計年度末に比べ3,823百万円増加いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは4,627百万円の収入となり、前年同期と比べ収入は3,010百万円の増加となりました。

これは主に税金等調整前中間純利益が増加したこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは16百万円の支出となり、前年同期と比べ支出は552百万円の減少となりました。

これは主に定期預金の払戻による収入が増加したこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは1,528百万円の支出と、前年同期と比べ支出は81百万円の増加となりました。

これは主に短期借入金の純増減額が減少したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、電子分野向け薬品は、半導体関連市場における、AIやIoTの普及及び自動車の自動運転など様々なデジタル技術の革新に伴い、中長期的には当社事業に関連するプリント基板、半導体パッケージ基板の需要が拡大すると予想されます。一方、装飾分野向け薬品は、主な対象となる自動車部品において、デザイントレンドの変化や電気自動車の普及による需要の低迷が影響しており、今後も横ばい基調で推移するものと予想されます。

このような状況を踏まえ、当社グループは中長期の方向性として「2035年に目指す姿」を「独自の強みを最大限に活かし、環境や社会に貢献することで、社会とともに成長し続けるグローバル企業」と定め、日々変化し続ける外部環境に対応しつつ、常に技術・サービス体制を強化していくことで、社会価値と経済価値の追求による企業価値向上を図ってまいります。

また、これを実現するため、当社グループは中期経営計画「JCU VISION 2035 - 1st stage -」（2025年3月期～2027年3月期）を策定し、「成長分野への積極的な投資」、「経営基盤の強化」、「DX推進によるデータの利活用」、「既存市場における収益性強化」、「サステナビリティ経営の推進」及び「人的資本、知財・無形資産の活用」を基本方針に、取り組みを推進してまいります。2025年3月期の連結業績予想につきましては、2024年5月10日に公表した通期連結業績予想の数値から修正等はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,037,802	30,412,947
受取手形	1,760,853	1,798,560
売掛金	8,149,301	6,364,072
契約資産	261,093	492,969
商品及び製品	1,591,900	1,575,248
仕掛品	120,658	103,878
原材料及び貯蔵品	805,536	834,622
その他	1,161,273	1,733,093
貸倒引当金	△56,860	△58,792
流動資産合計	40,831,559	43,256,600
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,404,001	3,515,248
機械装置及び運搬具(純額)	1,013,688	1,054,412
工具、器具及び備品(純額)	524,812	696,186
土地	915,500	915,500
リース資産(純額)	30,684	26,300
建設仮勘定	276,907	878,022
有形固定資産合計	6,165,594	7,085,669
無形固定資産		
その他	42,047	100,225
無形固定資産合計	42,047	100,225
投資その他の資産		
投資有価証券	1,750,762	1,609,170
繰延税金資産	415,955	354,822
その他	435,777	458,659
投資その他の資産合計	2,602,494	2,422,652
固定資産合計	8,810,136	9,608,548
資産合計	49,641,695	52,865,149

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,085,890	1,186,641
電子記録債務	1,036,978	1,309,086
短期借入金	450,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	166,863	124,168
リース債務	13,804	14,162
未払法人税等	1,304,255	1,153,391
賞与引当金	389,731	413,363
その他	1,216,509	1,405,611
流動負債合計	6,664,033	5,906,423
固定負債		
長期借入金	121,564	60,000
リース債務	36,402	29,230
退職給付に係る負債	126,954	149,180
繰延税金負債	131,847	155,913
資産除去債務	275,761	281,076
その他	34,722	34,722
固定負債合計	727,251	710,123
負債合計	7,391,284	6,616,547
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,266,922	1,281,480
資本剰余金	1,208,364	1,222,922
利益剰余金	39,678,346	42,177,374
自己株式	△4,770,809	△5,152,258
株主資本合計	37,382,824	39,529,518
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	467,027	388,196
為替換算調整勘定	4,400,558	6,330,886
その他の包括利益累計額合計	4,867,586	6,719,082
純資産合計	42,250,410	46,248,601
負債純資産合計	49,641,695	52,865,149

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	10,864,394	12,736,294
売上原価	4,282,037	4,121,029
売上総利益	6,582,357	8,615,265
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	1,163,642	1,231,326
賞与	329,942	358,695
退職給付費用	66,791	72,004
減価償却費	221,659	277,690
その他	1,704,789	2,010,389
販売費及び一般管理費合計	3,486,825	3,950,106
営業利益	3,095,531	4,665,158
営業外収益		
受取利息	75,128	105,684
受取配当金	14,294	19,422
為替差益	44,662	206,061
貸倒引当金戻入額	28,954	2,811
その他	35,202	13,819
営業外収益合計	198,241	347,799
営業外費用		
支払利息	3,739	2,387
持分法による投資損失	26,821	24,381
支払補償費	33,985	-
その他	26,351	3,171
営業外費用合計	90,898	29,940
経常利益	3,202,874	4,983,016
特別利益		
固定資産売却益	779	94
特別利益合計	779	94
特別損失		
固定資産売却損	93	-
固定資産除却損	3,031	1,523
投資有価証券評価損	656	-
特別損失合計	3,781	1,523
税金等調整前中間純利益	3,199,873	4,981,588
法人税、住民税及び事業税	810,574	1,482,428
法人税等調整額	211,606	113,488
法人税等合計	1,022,180	1,595,917
中間純利益	2,177,692	3,385,670
親会社株主に帰属する中間純利益	2,177,692	3,385,670

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	2,177,692	3,385,670
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	196,051	△78,831
為替換算調整勘定	1,281,043	1,926,306
持分法適用会社に対する持分相当額	24,039	4,021
その他の包括利益合計	1,501,135	1,851,496
中間包括利益	3,678,827	5,237,167
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	3,678,827	5,237,167

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年 4 月 1 日 至 2023年 9 月 30 日)	当中間連結会計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月 30 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	3,199,873	4,981,588
減価償却費	343,881	400,488
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△28,954	△2,811
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△74,392	20,887
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	9,264	14,885
受取利息及び受取配当金	△89,422	△125,106
支払利息	3,739	2,387
為替差損益 (△は益)	1,641	58,994
持分法による投資損益 (△は益)	26,821	24,381
固定資産売却損益 (△は益)	△686	△94
固定資産除却損	3,031	1,523
投資有価証券評価損益 (△は益)	656	-
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	858,643	2,173,243
契約負債の増減額 (△は減少)	21,870	190,728
棚卸資産の増減額 (△は増加)	513,616	315,532
仕入債務の増減額 (△は減少)	△972,058	△1,221,954
前渡金の増減額 (△は増加)	△280,454	△357,221
その他	△261,961	△338,678
小計	3,275,110	6,138,775
利息及び配当金の受取額	90,415	152,379
利息の支払額	△3,725	△2,385
法人税等の支払額	△1,742,059	△1,692,310
法人税等の還付額	△2,865	31,033
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,616,874	4,627,492
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	△185,237	577,254
有形固定資産の取得による支出	△393,182	△622,700
有形固定資産の売却による収入	6,892	147
無形固定資産の取得による支出	△2,009	△5,914
投資有価証券の取得による支出	△788	△793
投資有価証券の売却による収入	-	37,345
その他	5,334	△2,326
投資活動によるキャッシュ・フロー	△568,990	△16,986

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△41,631	△150,000
長期借入金の返済による支出	△143,833	△104,259
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△6,470	△6,813
自己株式の取得による支出	△409,554	△381,449
配当金の支払額	△845,974	△886,164
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,447,464	△1,528,687
現金及び現金同等物に係る換算差額	442,197	741,301
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	42,615	3,823,120
現金及び現金同等物の期首残高	21,997,846	24,587,158
現金及び現金同等物の中間期末残高	22,040,462	28,410,279

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

当社は、2024年8月7日開催の取締役会決議に基づき、自己株式110,600株の取得を行っております。この結果、当中間連結会計期間において、自己株式が381,297千円増加しました。当該自己株式の取得等により、当中間連結会計期間末において自己株式が5,152,258千円となっております。

(セグメント情報等)

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	薬品事業	装置事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	9,806,311	1,057,972	10,864,283	111	10,864,394	—	10,864,394
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	9,806,311	1,057,972	10,864,283	111	10,864,394	—	10,864,394
セグメント利益又は セグメント損失(△)	3,467,067	76,891	3,543,959	△8,567	3,535,391	△439,860	3,095,531

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ワイン製造用ブドウ・苗木の育成・販売等であります。

2. 調整額の内容は次のとおりであります。

セグメント利益

(単位：千円)

	当中間連結会計期間
セグメント間取引消去	—
全社費用※	△439,860
合計	△439,860

※全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	中間連結 損益計算書 計上額 (注)3
	薬品事業	装置事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	11,384,267	1,352,026	12,736,294	—	12,736,294	—	12,736,294
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	11,384,267	1,352,026	12,736,294	—	12,736,294	—	12,736,294
セグメント利益	4,967,645	172,242	5,139,888	—	5,139,888	△474,729	4,665,158

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 調整額の内容は次のとおりであります。

セグメント利益

(単位:千円)

	当中間連結会計期間
セグメント間取引消去	—
全社費用※	△474,729
合計	△474,729

※全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。